

地域環境維持活動支援交付金 ごみステーション(S T)維持管理交付金 の取組について

令和 3 年度～ 5 年度



自治会のごみST管理の負担軽減と実情把握に役立てるため実施したアンケート結果は、次のとおりです。

1 交付金申請自治会数

年度	R3	R4	R5
自治会数	300	300	300
交付金申請自治会数	225	241	246
申請率	75.0%	80.3%	82.0%

交付金を申請する自治会が8割を超え、本交付金の趣旨に対する自治会の理解が少しずつ広がっています。

2 自治会未加入者のごみST 利用について (複数回答)

年度	R3	R4	R5
利用を認めている	115	125	107
やむを得ず黙認		69	66
利用料を徴収	18	19	27
掃除当番等の割り当て	27	28	33
利用を認めていない	31	19	17
その他・無回答	14	25	25

アンケート回答数が異なり、また複数回答であるため正確な比較とはなりません。自治会未加入者のごみST 利用を認めない自治会が減少し、利用料の徴収や掃除当番の割り当て等、一定のルールを設けて利用を認める自治会が増加していると考えられます。

3 交付金によるごみSTへの影響

年度	R3	R4	R5
影響なし	115	170	124
ごみSTの排出状況が悪化した	26	56	17
その他・無回答	32	11	24

交付金によるごみSTの排出状況への悪影響は極めて小さいと考えられます。引き続きごみ分別に関する周知、ごみSTへの不適正排出に対する指導を徹底することにより、地域のごみST環境維持を支援してまいります。

4 交付金による自治会加入率への影響

年度	R3	R4	R5
影響なし	161	-	156
交付金を理由に退会者が出た	7	-	10

※令和4年度は調査無し

交付金による自治会加入率への影響は限定的であると考えられますが、自治会加入未加入にかかわらず、地域のごみSTを利用することに理解が得られるよう、引き続き自治会の皆さんと協議してまいります。

5 今後の取り組み

各自治会の皆さんへ「地域のごみステーション維持・管理について」をお示した結果、交付金の趣旨について理解が深まったというご意見を多くいただきました。

今後も、ごみSTの適切な維持・管理のため、ごみ分別の周知徹底、ごみST取り残しごみの回収に対応してまいります。

地域のごみSTを利用できる環境の維持・拡大を目指してまいりますので、交付金の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

